

昨年11月23日、中国は他国の航空機が無届けで進入した場合警告を行う防空識別圏を東シナ海の広い範囲に突如設定した。尖閣諸島の上空が含まれた日本はその撤回を求めたが、韓国も東シナ海の海中岩礁ソコトラ岩(韓国名「離於島」、中国名「蘇岩礁」)の上空が含まれたことに衝撃を受けた。12月15日、韓国は対抗して韓国の防空識別圏を南に拡大してソコトラ岩上空を含ませた。

韓国は「離於島」への強い執着を見せたのである。韓国のソコトラ岩周辺海域への関心は韓国が建国された1948年前後から見られる。47年10月、韓国の有力紙・東亜日報はこの海域に「波浪島」があつて日本が領有を主張していると警告し、またこの海域が好漁場であ

ることを訴えた。「波浪島」は実在しない島であるが、この海域が日本の以西底引き網漁業の「どっておきの魚場」であつたことは事実であつた。51年7月、韓国は「波浪島」を日本領から除外して韓国領とすることをサンフランシスコ講和条約に明記することを米国に求めたが、その位置を正確に答えられず拒否された。韓国を代表する知識人の俞鎮午は、「国家の権威を象徴する正式の外交文書に実存しない島の名前を書いて我が領土だと主張したのは取り返しのつかない失敗だった」と述べている。しかし翌52年1月の季承晩ライン宣言ではこの海域に韓国の主権が及ぶことを宣言し、この年に始まる65年に妥結する日韓国交正常化交渉(日韓会

談)でもこの海域からの日本漁船排除を執拗に要求したのであつた。

談論 Spurred discourse 風発

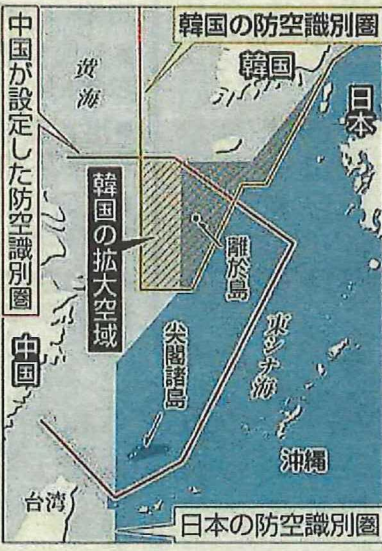
韓国の防空識別圏拡大―竹島問題と関連して

虚偽で譲歩迫る思考方式

島根県竹島問題研究顧問 藤井 賢二



は海洋探査事業の結果ソコトラ岩の位置を特定し、この暗礁と「離於島」とが結びつくことになつた。そもそも「離於島」とは、貢物を乗せた朝鮮



の船が済州島から中国に向かう航路の中ほどにあるとされた、済州島の民謡と伝説に登場する島の名称であつた。暗礁であるソコトラ岩は国際法上領土と認められないにも関わらず、ソコトラ岩を「済州島民謡の島である」として生まれた。また、国際法では暗礁を基点としてその水域の資源を沿岸国が管理できる排他的経済水域(EEZ)を設定することはできない。しかし、21世紀になって韓国はソコトラ岩に「離於島海洋科学基地」建設を開始した。水中41メートル、水深36・5メートルのこの構造物の認識が「正常」だといふのである。まず願望や想念を打ち出しそれに従って現実を解釈し変更しようとする、このような韓国の行動様式は、事実とは異なる「独島(竹島の韓国名)は日本に奪われた最初の朝鮮の領土である」という主張を日本に認めさせようとしていたと認めさせようとしていた。島根県が向き合っている竹島問題でも見られる。島根県が向き合っている竹島問題でも見られる。島根県が向き合っている竹島問題でも見られる。

以上の状況の中で昨年の防空識別圏問題は起きた。韓国の有力紙・朝鮮日報は韓国の防空識別圏拡大を、1951年に韓国が防衛識別圏を設定して以来「62年ぶりの正常

ふじい・けんじ 兵庫 県姫路市立姫路高校教諭。島根県吉賀町出身。専門は近現代日朝・日韓関係史。島根県第3期竹島問題研究会委員、島根県竹島問題研究顧問。